

2018年1月31日

各 位

会社名 株式会社 MCJ
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 高島 勇二
(東証第二部 コード番号: 6670)
問合せ先 経営企画室
(電話番号 03-6739-3991)

**(開示事項の経過) R-Logic の株式取得及び第三者割当増資引受(連結子会社化)
払込完了のお知らせ**

当社は、2017年9月21日付「R-Logic の株式取得及び第三者割当増資引受(連結子会社化)に関するお知らせ」にて、2018年1月31日を実行日として、R-Logic International Pte Ltd (本社: シンガポール、以下「R-Logic」) の株式の取得及び第三者割当増資を引き受けることについてお知らせしましたが、予定どおり払込みを完了しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 出資の背景と目的

当社グループは、2016年5月13日のニュースリリース「中期経営計画策定のお知らせ」等にてお知らせしておりますとおり、今後の成長戦略の一環としてM&Aによるグローバルを含む当社グループのバリューチェーンの拡充や強化、製品及びサービスにおける事業のバリューアップを掲げております。

このような方針の下、アジアの複数国においてパソコンやモニタを含むIT製品の修理、技術サポートを提供するR-Logicの株式の60%を取得いたしました。

これにより、今後当社グループのアジア進出に向けたインフラの整備を加速させると共に、アライアンス先のアジア地域への展開支援等におけるハードウェアビジネスのインフラ基盤としての活用も将来的に検討していく方針です。

R-Logicはシンガポールに本社を置き、アジア複数国においてパソコンやモニタ、スマートフォンを中心に、IT関連製品の修理や技術サポートを提供する会社で、インドに2社、マレーシアに2社、中国、インドネシアに各1社の合計6社の連結対象子会社を有し、多数の大手グローバル企業のアフターサポート事業を幅広く手掛けています。

又、R-Logicの株式取得に加え、当社グループの取締役2名がR-Logicの取締役を兼務すると共に、当社社員の出向を通じて、事業及び管理体制の強化及び現地経営陣との信頼関係の強化に注力して参ります。

2. 割当の概要

- (1) 当社への割り当て新株式数 501,260株 (取得分115,860株、引受分385,400株)
- (2) 払込期日 (取得分) 2018年1月31日
- (3) 払込期日 (引受分) 2018年1月31日

(注) 払込価額については、当事者間の守秘義務に基づき非開示としておりますが、外部専門家による株式価値の算定結果を踏まえ、公正妥当な金額にて取得しております。

3. 増資後の連結子会社の概要

(1) 名 称	R-Logic International Pte Ltd		
(2) 所 在 地	3014A Ubi Road 1 #04-01 Singapore 408703		
(3) 代表者の役職・氏名	Tan Keng Boon		
(4) 事 業 内 容	アジア地域における IT 製品の修理・技術サポートの提供		
(5) 設 立 年 月 日	1999年3月1日		
(6) 大 株 主	MCJ (60%)		
(7) 当該グループ会社の最近3年間の連結経営成績及び財政状態 ※1			
決 算 期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 ※2
純 資 産	9,731 千シンガポールドル (805 百万円)	14,203 千シンガポールドル (1,176 百万円)	17,933 千シンガポールドル (1,485 百万円)
売 上 高	30,299 千シンガポールドル (2,509 百万円)	36,266 千シンガポールドル (3,003 百万円)	38,957 千シンガポールドル (3,226 百万円)
当 期 純 利 益	1,483 千シンガポールドル (122 百万円)	4,499 千シンガポールドル (372 百万円)	3,119 千シンガポールドル (258 百万円)

※1 日本円換算表記は、1シンガポールドル82.82円で換算したものです。

※2 2017年3月期については、監査前の連結財務諸表に基づくものです。

以上